

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名:茨城県 土木部 竜ヶ崎工事事務所

事業の名称:都市計画道路 中内大塚線 街路改良事業

実施都市名:茨城県 取手市

事業目的

取手市のJR常磐線藤代駅周辺地区については国道6号沿道から市街化が進み、近年、藤代駅南側の区画整理事業や桜が丘団地の造成によって、駅周辺についても発展の基礎が整いつつあります。

しかし、JR常磐線の影響により南北を結ぶ道路は狭い路地や踏切のみであることから、朝夕のラッシュ時に慢性的な渋滞が発生し、緊急時の防災活動などにも支障を来す恐れがあるなど、駅周辺地区の均衡ある発展を阻害する要因となっていました。

特にJR常磐線新田踏切については朝夕の渋滞が著しく、車両と歩行者等が輻輳し、非常に危険であったため、道路交通の円滑化や安全な歩行空間の確保、及び中心市街地の活性化を図ることを目的として、JR常磐線新田踏切の立体化事業に着手する事としました。

事業概要

事業名：都市計画道路 中内大塚線 街路改良事業

路線名：都市計画道路 中内大塚線

事業箇所：取手市藤代～藤代南

事業延長：479m

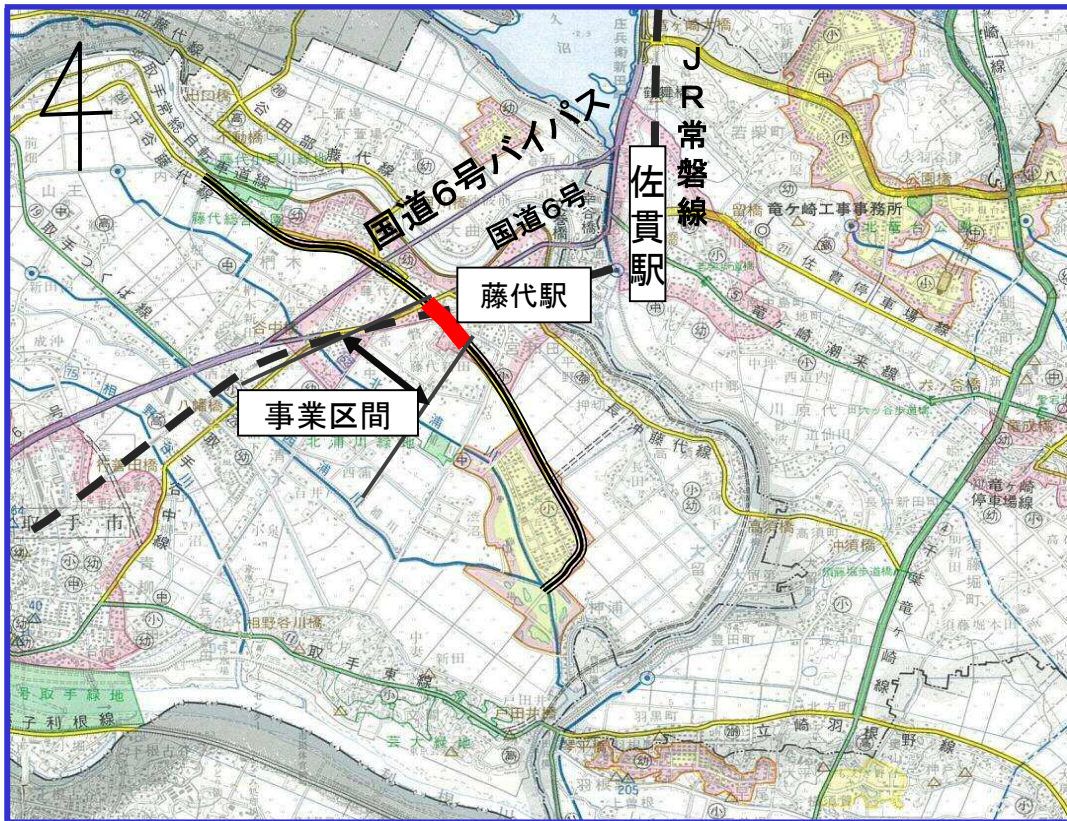
幅員：17m(2車線)

総事業費：約35億円

事業期間：平成9年度～平成24年度

本路線は、取手市藤代の市街地の南北を貫く幹線道路であり、JR常磐線によって分断された市街地を結ぶ重要な道路です。

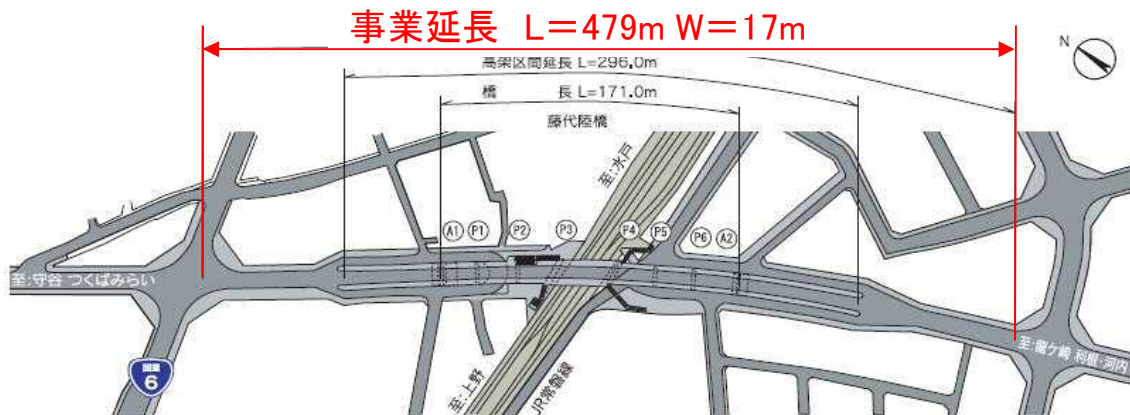
事業位置図



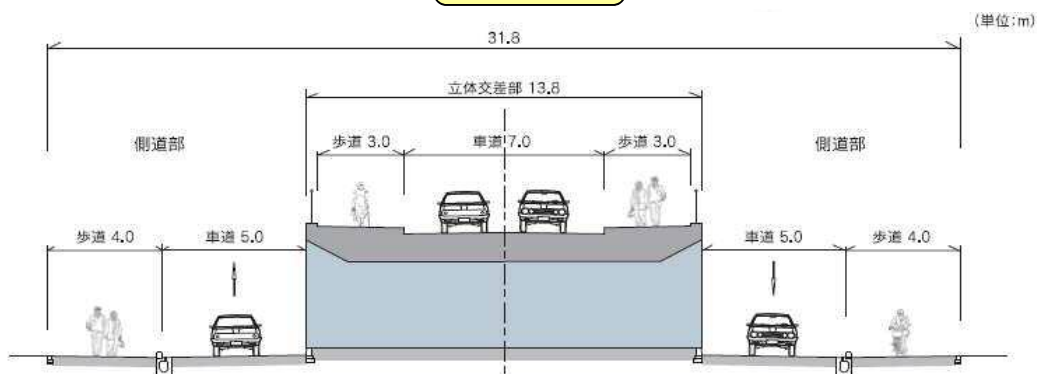
全体図(平面図・側面図・横断面図)

事業区間

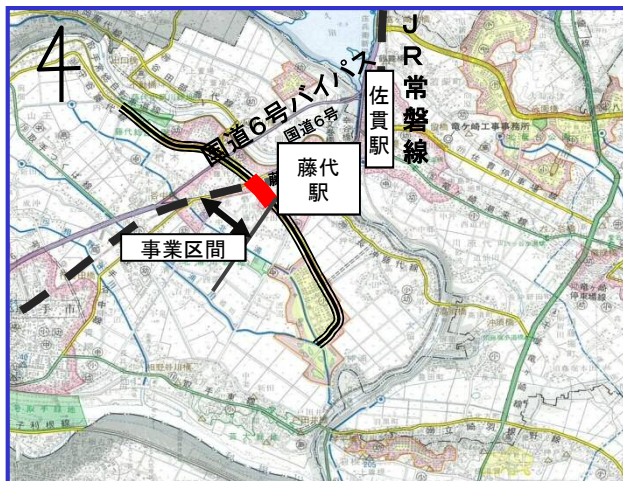
平面図



横断面図



都市計画道路中内大塚線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路 中内大塚線
街路改良事業

路線名: 都市計画道路 中内大塚線

事業箇所: 取手市藤代～藤代南

事業延長: 479m

幅員: 17/6m(全幅/車道)

総事業費: 約35億円

事業期間: 平成9年度～平成24年度

整備効果

整備前



整備後



踏切を通らずに南北市街地の移動が円滑化



分離された車道と歩道で安全性が確保

整備効果

〈新田踏切の現状〉

《整備前》

《整備後》

●踏切遮断時間

3時間50分/12h → 0分

●踏切で遮断される交通量

約1,100台/12h → 0台

その他の事業効果

〈交流の活性化〉

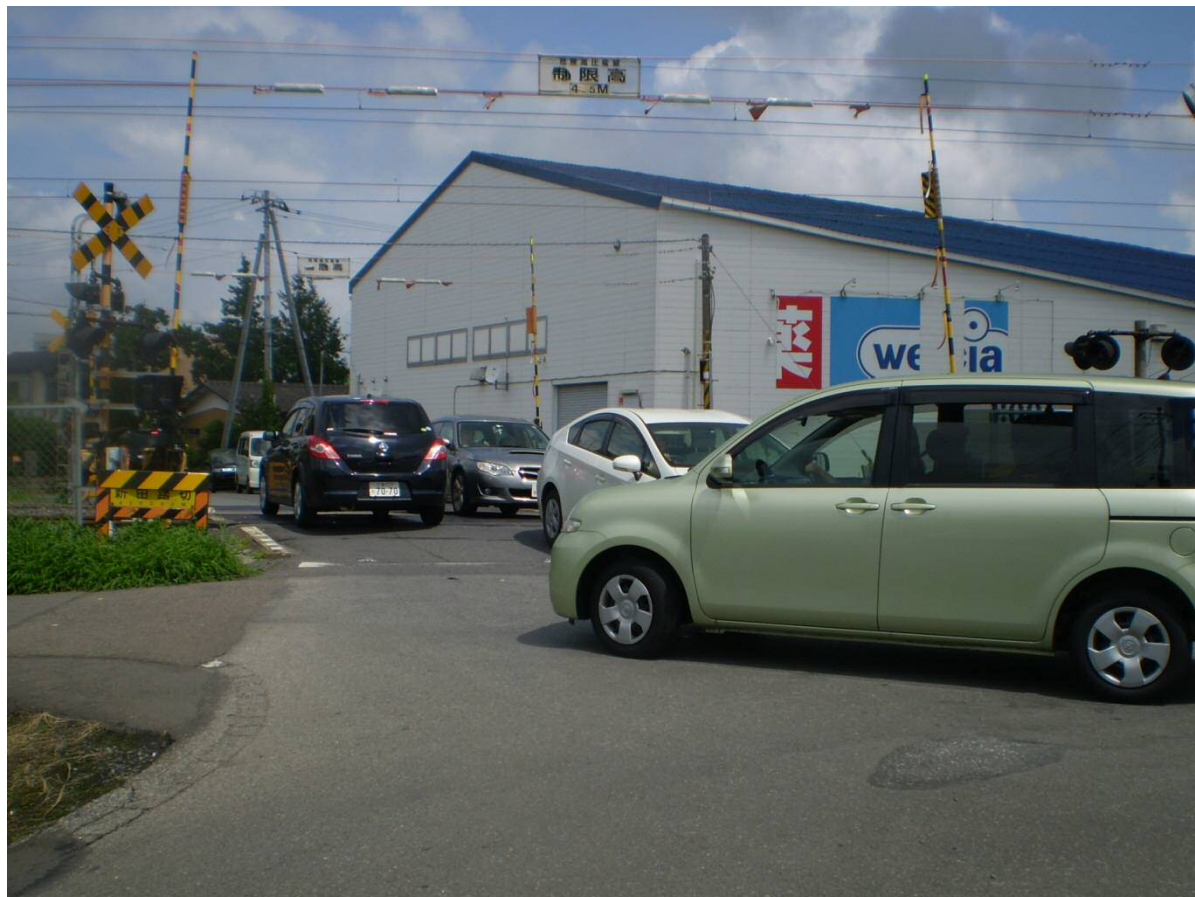
整備前 3,700台/12h(新田踏切)

↓

整備後 6,100台/12h(藤代陸橋)

事業前写真

平成23年8月撮影



平成23年10月撮影



平成19年6月撮影



事業後写真

平成24年11月撮影



平成24年11月撮影



平成24年11月撮影

